

私のおすすめ この1冊！

増患、増点、増収をもたらす 患者納得診療

高橋英登 著

B5判・134頁・定価2,940円（税込）

2013年7月10日 ヒョーロン・パブリッシャーズ刊

矢崎秀昭

（東京都新宿区／矢崎歯科医院）

最近の歯科界は歯科医師の過剰問題などから、一般雑誌等においても経営の苦しい状況が頻繁に報道されるなど、歯科医院経営は一段と難しさを増してきています。本書は医院を開院したばかりの若手の歯科医師はもちろん、長年にわたり開業しているベテランの先生方にも、改めて自院の経営について見直すのに、最適な著書です。

技術と経営理念に裏打ちされた内容

著者である高橋英登先生は長年にわたり地域において多くの患者さんの信頼を得て診療されておられます。また、大学の補綴学の講師として最新の歯科技術や材料学について多くの研究論文を発表されることはもとより、医院経営など多方面にわたる講演会活動もされておられます。

さらに、社会保険の審査委員や東京・杉並区歯科医師会の会長を長く務め、行政とも連携して地域の歯科保健活動に大変熱心に取り組まれ、多くの市町村のモデルとなるような“地域歯科医療システム”を構築されておられます。

本書は、日本の保険医療制度の仕組みや歯科医療費の動向、2年毎に行われている診療報酬改定の仕組みなど、社会保険の審査委員や指導委員を務めた経験から明快な解説がな

されています。このような、わが国の社会保険制度において歯科界が取り組むべき多くの課題の記述もあり、特に若手の先生方には今後の自分たちの問題として、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

保険診療に強くなる

歯科医療に対する一連のマスコミ報道の関係もあり、初診患者の減少傾向がずっと続いています。患者のニーズをいかにすればより効率的に把握でき、来院患者の増加を図ることができるかについて、多くの実行可能な示唆が記述されています。

現実には多くの患者は保険での診療を希望して来院しますが、保険診療においても治療費の目安を事前に理解してもらうなど、患者の満足度を高くするための試みは、大いに参考になると思われます。

また、保険のルールを正しく理解した上で、どのような治療をすれば保険診療においてもマイナスにならず、経営の健全化に寄与することができるかなど、具体的な内容についての記述もあり、まさに明日からの診療に役立ちます。

これからの時代の流れに適合した、患者の高い評価が得られる医院改革の方法、歯科衛生士を活用したメンテナンスへの取り組みなど、



健全経営の確立についての記述は大いに参考になるはずです。

自費診療や超高齢社会にも強くなる

さらに、著者の専門領域であるオールセラミックスやハイブリッドセラミックスを応用し、患者の十分な理解のもと自費診療導入による経営の安定を求める手法など、「目からウロコ」となる読者も多数おられることと思われます。

自費診療は、最良の医療技術を提供することにより患者は健康上の大きな利益を得ることになりますが、それが継続的な口腔管理の動機づけともなり、生涯にわたる口腔の健康を保つことができる元となります。自費診療については、費用の明示や患者に対する大きな責任を負うことからセラミックスの破損時等の修復テクニックなどに至るまで、実際の臨床において大変参考となる内容の記述も盛り込まれています。

超高齢社会に向かって“ライフステージに合った診療”を心がけることの必要性についても、生涯にわたる患者とのかかわり合いを含めて多くの示唆があります。

これから開業を目指している方から、すでに開業しているが経営が難しくなったと感じている方に、ぜひ「おすすめ1冊」です。